

ばんけい

教育ほつとにゅーす

かわら版

こ みち
教育の小径

No.139

2020 May

5月号



(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生

今月のことば

いっ き いち ゆう
一喜一憂

周囲の状況が変化
するたびに、喜んだり
心配したりすること
です。感情が振り回
され、落ちつかない
ことをいいます。

教師の「意図的指名」とは何か

- 教師による意図的な指名によって、子どもたちの学びが深まりのあるものになります。
意図的指名は子ども一人一人を生かし、授業の質を高めるために必要なことです。
- 意図的に指名するためには、教師の子ども理解と観察力、洞察力が求められます。それに
一人一人を生かすタイミングを見逃さないことがポイントです。

今月の 博士の日
記念日 (5月7日)

明治21年(1888年)のこの日、植物
学者の伊藤圭介、数学者の菊池大麓ら
25人に文部省から博士号が授与され、
日本に初めて博士が誕生しました。

指名の仕方は多様

授業における子どもを指名する行為は教師の重要な仕事です。教師の指名によって、子どもたちの発言や活動が促されます。たかが指名ですが、教師の指名には授業の質や子どもの学びを左右する重要な役割があります。

教師の指名の仕方には大きく分けると、教師が何らかの意図をもって指名する場合と、何の意図ももたずにただ機械的に指名する場合があります。さらに詳しく見てみると、次のようなタイプがあります。

- 発言する列を指名して、前からあるいは後ろから順に発言させる。
- はじめに数名の子どもを指名し、順に発言させる。
- 挙手した子どもを何の意図もなく、アットランダムに指名する。
- 教師がある意図をもって指名する。

このように、子どもの指名の仕方には多様な方法があります。授業者の指名の仕方に関連したルールがあるわけではありません。学習指導案などにも指名に対する授業者の考え方や方法を記述することなどありません。ただ、授業を観察していると、指名の仕方から、その教師の授業観や児童観が見えてくる場合があります。

ここでは、一人一人の子どもを生かし、授業の質を高める観点から、教師による「意図的な指名」のあり方について考えます。

なお、「指名計画」については本リーフレットの128号で述べました。

なぜ、意図的な指名なのか

授業は基本的に教師と子どもたちとの言語による協働的な営みです。多くの場合、授業は教師の発問や指示と子どもたちの発言や活動との関係性のなかで展開されます。両者を結びつけているのが、発言を求める(依頼する、許す)指名という教師の行為です。

授業には、目標(ねらい)が設定されます。その内容をすべての子どもたちに実現させることに教師の役割があります。教師は子ども一人一人の学習状況を生かしつつ、目標に導いていかなければなりません。

「意図的指名」を話題にするとき、思い浮かべる場面があります。オーケストラのコンダクターの動きです。指揮者は楽譜に則って、多様な楽器にそれぞれ出番をつくっています。時には指揮棒で指し示しながら、あるいは演奏者と目を合わせながら、それぞれの楽器の音色を意図的に引き出しています。それぞれの演奏者と見えない糸で

通じ合っているようにも感じます。その結果、演奏会をひとつの優れた作品として完成させています。

授業における教師の指名は、オーケストラのコンダクターの役割と似ているように思います。

意図的指名の配慮事項

授業の質を高めるための重要なポイントは、教師の発問や指示に対して、子どもたちが考えていることを先読みすることです。子どもには考え方の傾向性があります。直観的、概念的に考える子どももいれば、具体的に捉える子どももいます。疑問をもったときには、それを顔に出してげんな表情をしたり、つつぶやいたりする子どももいます。教師の発問や指示に子どもたちは多様に反応してきます。

意図的な指名ができるようになるには、まずは日ごろから子ども一人一人のことをよく知ることで、児童理解を深めることです。次に大切なことは子ども一人一人をよく観察することです。何げないつぶやきや表情を見逃さない観察眼が求められます。そして、子どもを意図的に指名し、授業において出番をつくることです。子どもが挙手していなくても、教師が指名して発言するよう促すこともあります。

なぜ週案を書くのか

週案を書くことには、教科等の指導を意図的、計画的に実施するためという目的がありますが、それだけではありません。週案に関連して次のような事実がありました。

ある子どもが帰宅後、外出先の道路で交通事故に遭いました。軽いけがで済んだのですが、保護者が「子どもが交通事故に遭ったのは、学校で交通安全教育をきちんとやっていなかったからではないか」と訴えたのです。

その子どもの担任は、毎月の安全指導の日に、自転車の乗り方や道路の横断の仕方など交通安全に関する指導を行っていました。しかし、担任が言葉で「指導してきました」と繰り返し説明しても、相手は納得してくれませんでした。ところが、このことが週案簿に記録されていたのです。そこには担任と校長の印鑑が押されていました。週案に書かれていたことが、「この担任は日ごろから交通安全指導をきちんと行っていた」という、動かぬ証拠になり、保護者の訴えは退かれました。

学校教育の場では思わぬ事故やトラブルが発生します。交通事故だけでなく、けがをしたり水難や火災に遭ったりすることもあります。そうした場では、生命第一に誠心誠意対処することが基本ですが、あわせて事前、事後の指導の状況をできるだけ週案などに記録しておくことが大切です。

「週案を書くのは面倒だ」とか「管理職になぜ提出するのか」といった声を聞くことがあります。週案を作成すること、それに管理職が目を通すことは、万一事故などが起こったとき、自分の身を守る重要な「証拠物件」になることを認識しておきたいものです。

教育の動向

変形労働時間制の導入

過日の国会で、教員給与特別措置法（給特法）が改正されました。令和3年（2021年）4月から適用されます。改正の内容は、1年単位の変形労働時間制を公立学校の教員にも適用できるようにするものです。

具体的には、夏休みなど長期休業日にまとめて休暇を設けます。1学期など業務の多い時期に、1日当たりの勤務時間を最長で10時間まで引き上げ、その分を業務の比較的少ない夏休み期間などに、有給休暇のほかに休業日を設けるといったものです。

文部科学省は、中央教育審議会がと

りまとめた勤務時間の上限に関する「ガイドライン」をもとに、文科大臣の告示として示すとしています。これには法的な拘束性があります。

実施に当たっては、校長が一人一人の教員と話し合い、事情に応じて導入するとしています。学校として一律に実施する性格のものではありません。また、本制度の実施は自治体の判断によります。各自治体が条例で具体的な運用を定めることになります。

1年単位の労働時間制は、労働基準法で制度化されており、民間の企業や国立や私立の学校では既の実施されています。かつて完全学校週5日制が導入された経過期間に、土曜日に勤務した時間を長期休業日に「まとめ取り」として実施されたことがあります。

北 俊夫の「実践と研究」の足あと

7

はじめての海外研修

国際的な視野をもち、外国に学ぶことが奨励されるようになると、教育委員会に先立って民間の研究団体がツアーを企画し、教員が海外の学校や地域を訪問して研修を深めるという動きが見られるようになりました。昭和50年（1975年）ごろからでしょうか。

私が初めて海外に出かけて研修を行ったのは、昭和52年3月から4月でした。1ドルが360円の時代です。卒業式を終えたあとと出発しました。

訪問したサンフランシスコの南東に位置するサンノゼのレイチェル・カーズン小学校は、オープンスクールの学校でした。当時、日本には校舎内にオープンスペースさえありませんでしたので、「ハーモニカ校舎」に慣れきっていた私は強い衝撃を受けました。子どもたちは授業中にそれぞれ自由

に動き回り、好きなことに取り組んでいる姿が印象的でした。日本では「個別化、個性化」が話題になっていました。ひとクラスは20人程度で、教師と補助の教師、それにボランティアの3人が指導に当たっていました。

校舎は、メディアセンターと名づけられた広場が中央にあり、その外側に教室が配置されていました。子どもたちは教室から自由にメディアセンターに行って調べものをしていました。教室には豊富な教材や教具であふれ、カラフルな掲示物で一杯でした。掲示板には「WHAT DO WE NEED TO LIVE?」（生きるために必要なものは何か）と、哲学めいた問いかけが書かれていました。

海外研修では外国に目を向けることの大切さに気づき、日本の教育を見なおす貴重なきっかけになりました。

INFORMATION

得点集計・個人別診断ソフト

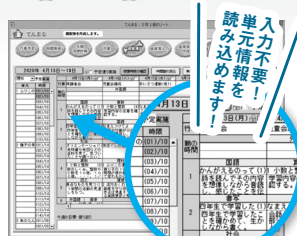
ぶんけいテスト
教師用付属ROM

てんまろ 2020

新機能! Super 週案
週案簿・月案簿を簡単作成、5<3<6<時数管理!

教科書情報 単元名・時数・めあては読みこむだけ!
搭載! 朝学習や帯時間、モジュール学習にも対応!

実施時数を 年間や月ごとの授業 専科週案機能 クラス週案と連
自動計算! 時数の過不足、達成 搭載! 携し、専科週案
率がすぐわかる! を簡単作成!



編集後記

予測困難な時代の中で課題を解決するために、かつてない速さの対応が求められるようになりました。今回の感染症拡大の事態によって、あらためて判断力・情報活用能力の重要性を思い知らされます。また様々な対応が今後の社会にプラスの面をもたらすよう切に願います。(K記)

企画・編集：ぶんけい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2020年5月1日